

リオン株式会社

2020年3月期 決算ダイジェスト

2020年5月20日

証券コード <6823>

連結業績－決算ハイライト

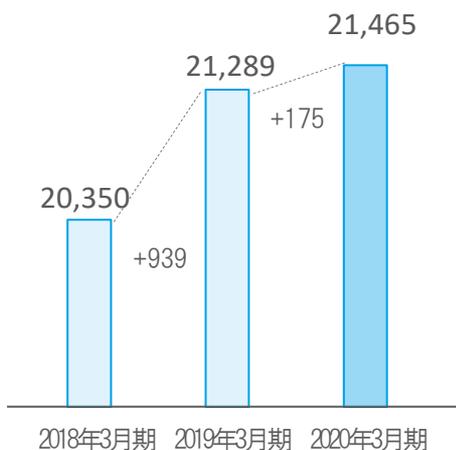
売上高は3期連続で過去最高を更新

中価格帯補聴器の好調が継続

新型コロナウイルスの影響は限定的

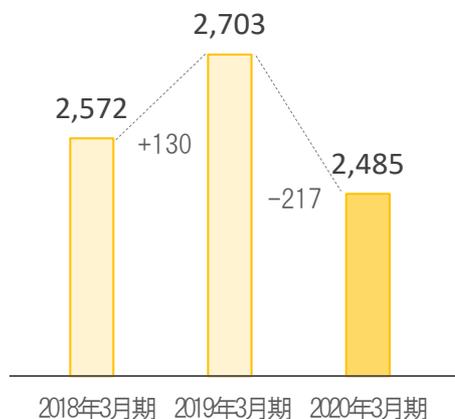
売上高

[百万円]

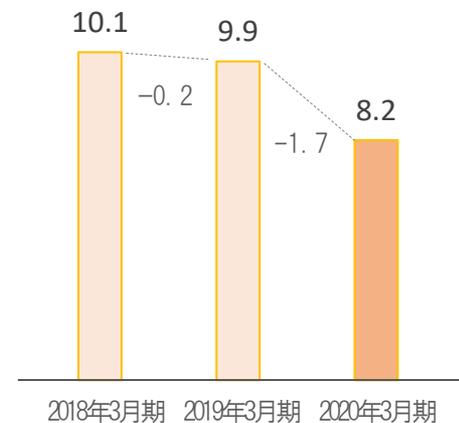


営業利益

[百万円]



ROE (自己資本利益率) [%]



期初予想との比較

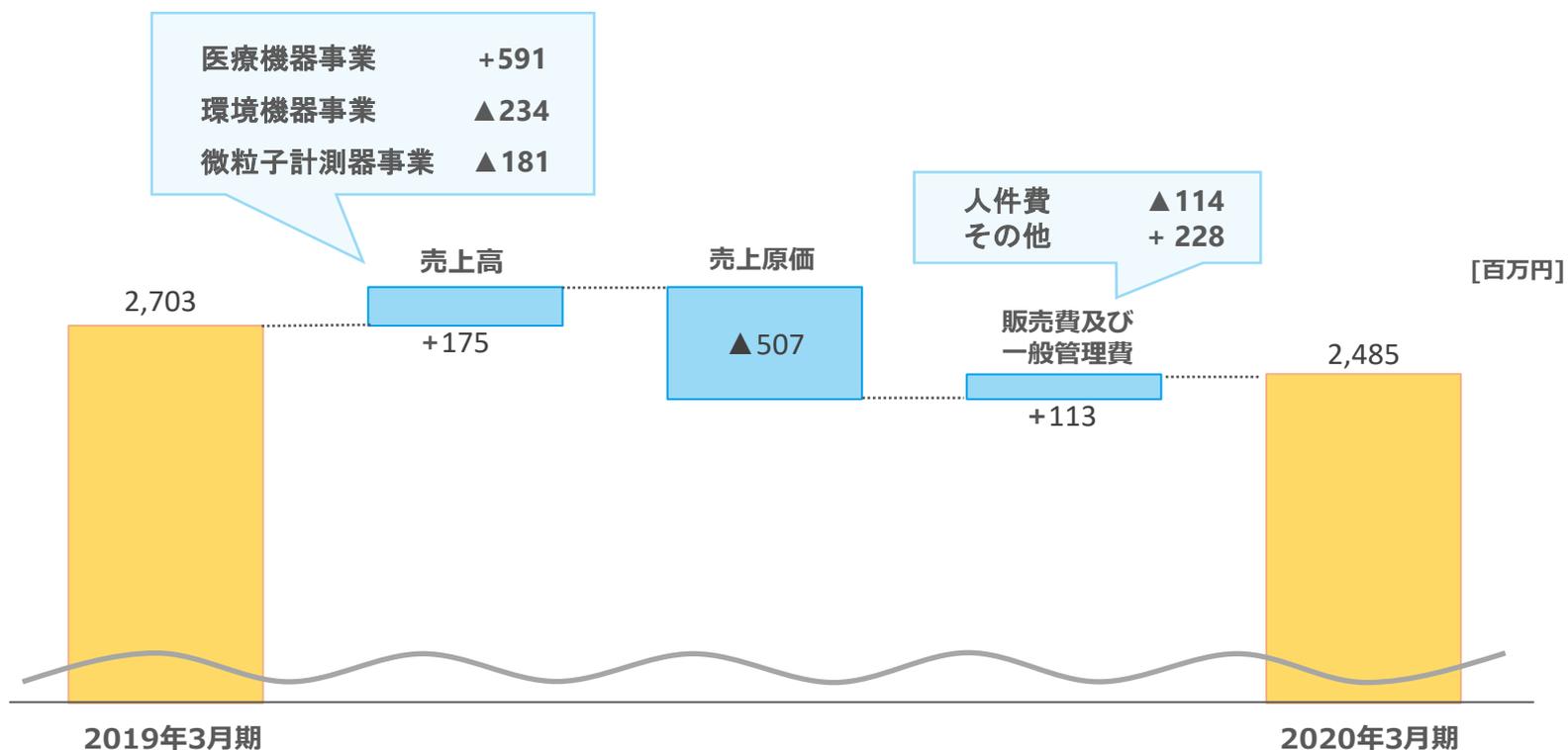
- 売上高は順調に推移したものの、利益は期初予想に及ばず

[百万円]

	2019年3月期	2020年3月期		対期初予想	
	実績	実績	期初予想	増減額	達成率
売上高	21,289	21,465	21,600	▲134	99.4%
営業利益	2,703	2,485	2,800	▲314	88.8%
経常利益	2,789	2,577	2,900	▲322	88.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,002	1,779	2,100	▲320	84.7%
1株当たり当期純利益	163円14銭	144円96銭	171円05銭	—	—
営業利益率	12.7%	11.6%	13.0%	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	9.9%	8.2%	—	—	—

営業利益の推移

- 医療機器事業の売上が増加したものの、全体では利益率の低い製品の売上割合の増加及び人件費の増加等により減益に



事業セグメント別 – ① 医療機器事業



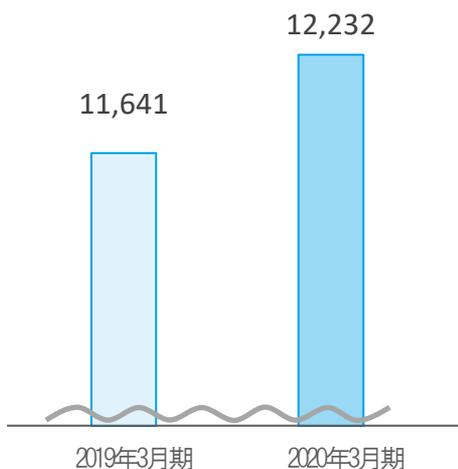
[増収増益]

- 中価格帯の新製品補聴器が売上に寄与（補聴器）
- 大学病院からの大口受注を獲得（医用検査機器）
- 新型コロナウイルスの影響により、期末にかけて若干の販売減に（補聴器）

売上高

[百万円]

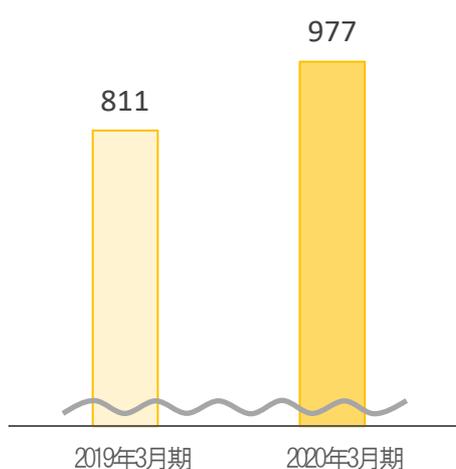
↑ 591



営業利益

[百万円]

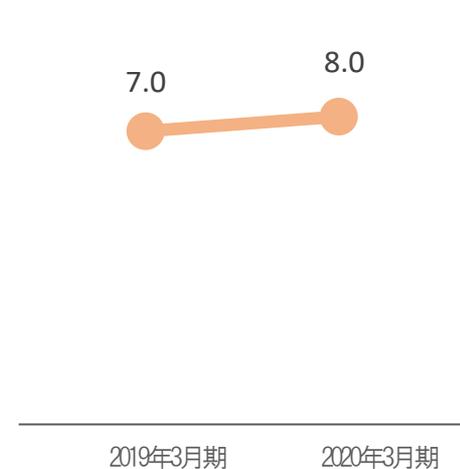
↑ 166



営業利益率

[%]

↑ 1.0pt



事業セグメント別 – ②環境機器事業



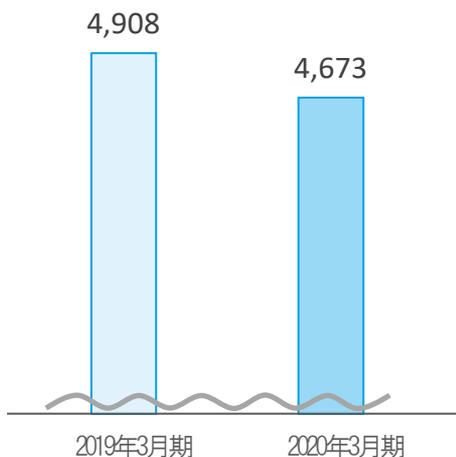
[減収減益]

- 都市部を中心に建設工事にかかる需要が継続
- インフラ整備に係る大きな受注があった前期に及ばず

売上高

[百万円]

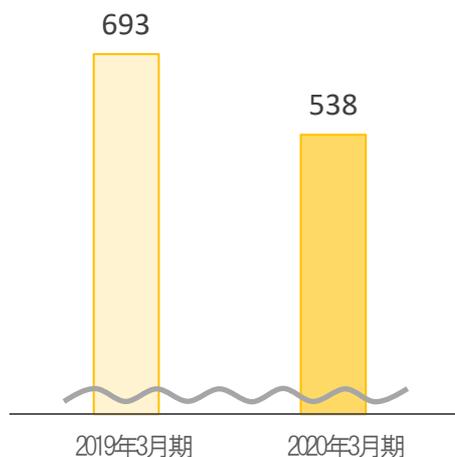
↓ 234



営業利益

[百万円]

↓ 155



営業利益率

[%]

↓ 2.6pt



事業セグメント別 – ③ 微粒子計測器事業



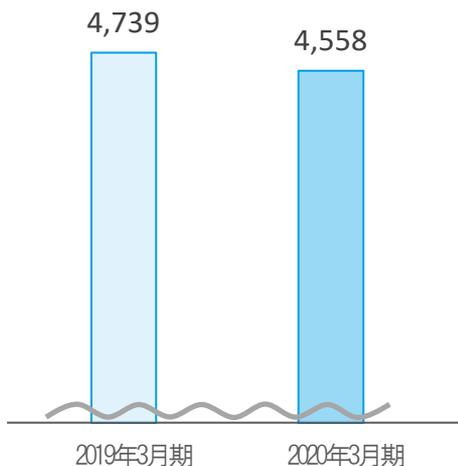
[減収減益]

- 国内/海外市場の両方において、最先端機種（液中微粒子計KS-19F等）が売上に貢献
- 世界的な需要減退の影響を受け、一般製品の販売が減少

売上高

[百万円]

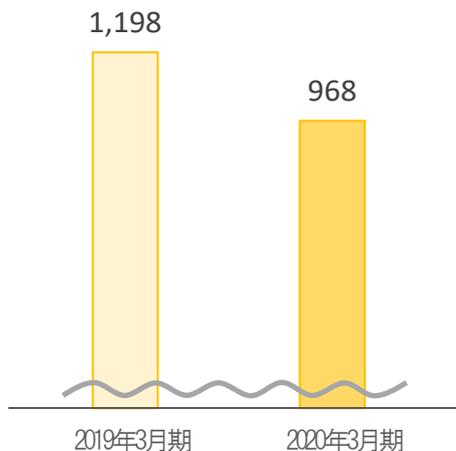
↓ 181



営業利益

[百万円]

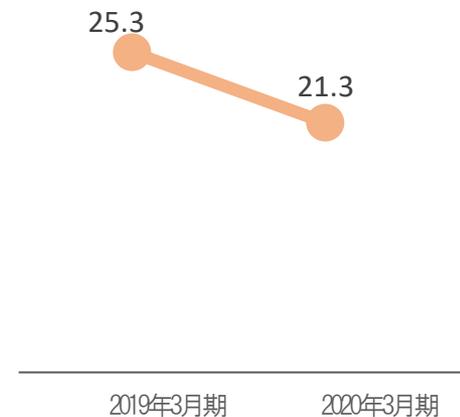
↓ 229



営業利益率

[%]

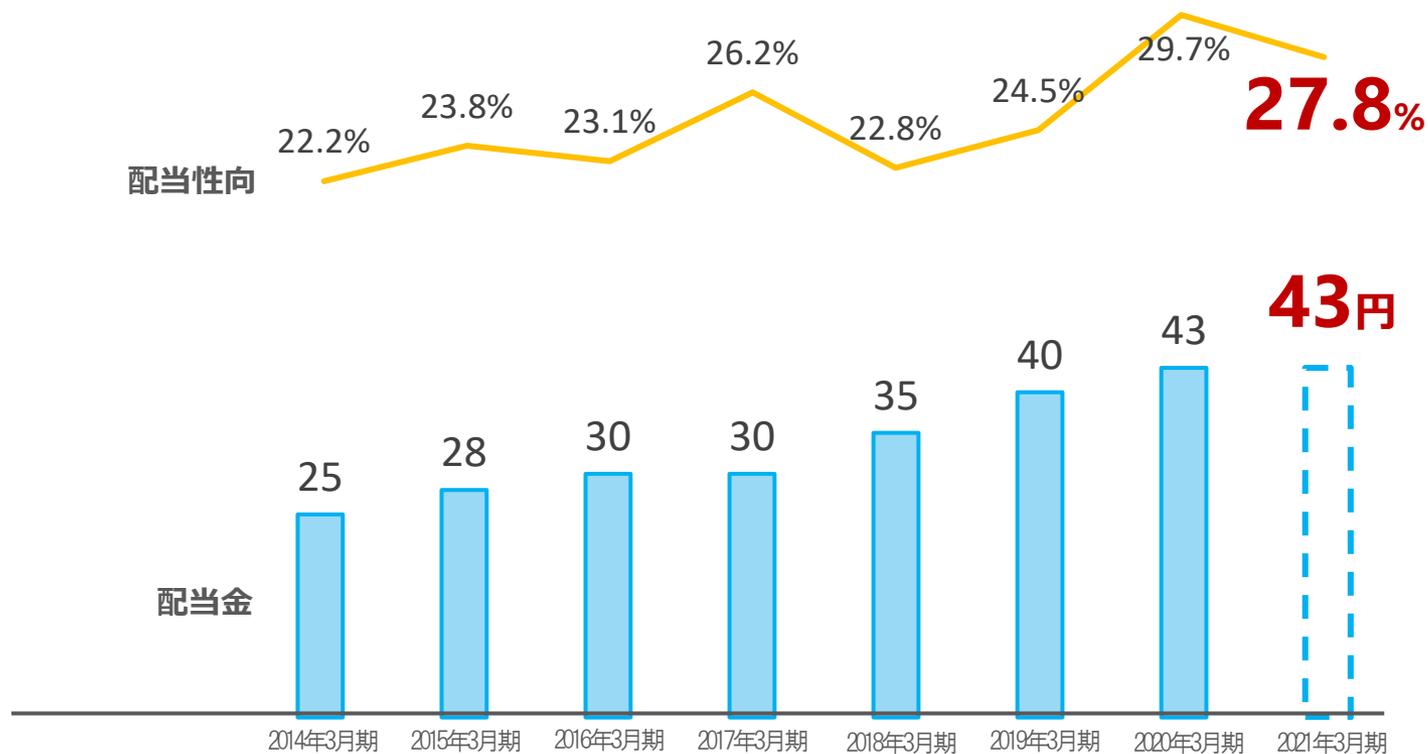
↓ 4.0pt



配当金と配当性向

- ・ 業績に応じた配当金額の設定
- ・ 配当水準向上の取り組みを継続

配当金・配当性向の推移と予測



連結業績の通期見通し

[百万円]

	2020年3月期		2021年3月期	
	2Q実績	期末実績	2Q (予想)	期末 (予想)
売上高	10,489	21,465	10,700	22,300
営業利益	1,399	2,485	1,400	2,500
経常利益	1,437	2,577	1,450	2,600
親会社株主に帰属する 当期/四半期純利益	999	1,779	1,000	1,900
1株当たり 当期/四半期純利益	81円38銭	144円96銭	81円45銭	154円76銭
営業利益率	13.3%	11.6%	13.1%	11.2%

新型コロナウイルス感染拡大の影響については現在精査中であり、上記見通しには織り込んでおりません。今後、新型コロナウイルス感染拡大の及ぼす影響が合理的に予想でき次第、速やかにその内容をお知らせいたします。



リオンは すべての行動を通して
人へ 社会へ 世界へ 貢献する

Contributing to people, society and the world through all our activities